どんぐりの森通信　第30号　2017年4月

あちこちで雪解けが進み、柔らかい日差しや流れる水音に一日一日と春の足音が近づいてくるのを実感する季節になりました。『平岡どんぐりの森』の新年度の活動も、もうすぐスタートです。

『平岡どんぐりの森』は平岡公園や東部緑地をフィールドにして、身近な自然に親しむ活動をしているグループです。自然観察会や生きもの調査・保護活動などを通じて、地域の自然環境を見守る目を増やしていきたいと願って活動しています。

『どんぐりの森通信第 30 号』では、昨年度の活動報告と、これからの活動予定を紹介します。

❖❖❖2016 年度の活動日誌から❖❖❖

ながぐつの土曜日　毎月第 3 土曜日 10:00 平岡公園第 1 駐車場集合　参加費 100 円

小学生の親子を主な対象にした自然観察会を、平岡公園管理事務所との共催で毎月第3土曜日に開催しています。草花や樹木、鳥や虫、魚などを観察しながら自然豊かな平岡公園内を隅々まで歩いて探検。生きものに詳しい酪農学園大学の学生さん達も毎回参加して、子ども達の質問に答えてくれます。

《春～初夏》

雪融けの湿地を歩く 4 月、あちこちに見つけた*エゾアカガエル*の卵をそっと手にとって、プルプルした手触りを確かめる子供たち。5月にはオタマジャクシになって、元気に泳ぎ回る姿が見られるよ。北海道にはいないはずの*トノサマガエル*も平岡公園では繁殖しています。カエルをきっかけに、外来種の問題を皆で考えていきたいですね。湿地の植物が茂って水面が見えにくくなる6月にはトンボが飛び始め、主役の*オニヤンマ*が登場する頃、湿地に初夏が訪れます。

《夏～秋》

7月には、小川に入って、タモアミで魚をすくい、水辺の生きものを観察します。*フクドジョウ*、*スナヤツメ*、*エゾホトケ*、*トミヨ*、*スジエビ*、トンボの*ヤゴ*など、子ども達のバケツには色々な生きものが入りました。こんなにたくさんいるんだね！草刈りをした原っぱでは、虫を追って一列に並んで行進です。9月には*フキバッタ*や*キリギリス*など秋の虫も勢ぞろいです。大きな*エゾマイマイ*や、水路の近くで偶然*ニホンザリガニ*も発見して歓声が上がりました。

《秋～冬》

木道脇の*ミゾソバ*の花が終わり、*ヌルデ*や*ツタウルシ*の紅葉が始まりました。*オオカメノキ*の赤や黒の実、キウイにそっくりな*コクワ*の実、毎年楽しみにしている*サワフタギ*の青い実、秋の公園も見どころはたくさんあります。木道上に小さな*トガリネズミ*の死体を発見。「ホントに顔が尖っているね！」「尻尾が長いね！」こんな時でないと、じっくり観察できませんね。

10 月で「ながぐつの土曜日」は一旦お休み、1 月・2 月は公園管理事務所前に集合、スノーシューで冬の森を歩きます。今年は*エゾリス*の足跡や、*クマゲラ*の新しい食痕を見つけました。春には出会いがあると良いですね！

平岡公園ツリーウオッチング

平岡公園内の樹木を中心にした自然観察会です。春の芽吹き、樹木の花、新緑の森、紅葉と、季節ごとに違った顔を見せてくれる平岡公園で、四季の移り変わりを楽しんでいます。積雪期は第一駐車場が閉鎖されるので、管理事務所前に集合してスノーシューで雪の森を歩いてみましょう。
（申し込みは不要、どなたでもご参加ください。）

《2017 年の予定》
第 3 水曜日 10:00 第 1 駐車場集合（参加費 100 円）

5 月 17 日（水）	森の芽吹きと樹木の花
6 月 21 日（水）	さわやかな新緑の森を歩く
7 月 19 日（水）	樹木の成長と森の世代交代
9 月 20 日（水）	森の恵みと動物たちの暮らし
10 月 18 日（水）	紅葉と実りの森
11 月 15 日（水）	森の冬支度を見る

モニタリングサイト1000　里地調査　2016 年度調査報告

平岡どんぐりの森は、環境省のプロジェクト『モニタリングサイト 1000 里地調査』の一環として、カエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査に参加しています。

◎エゾアカガエル　調査日 ' 16 年 4/8　4/16　5/21　（平岡公園）

エゾアカガエルは年 1 回の産卵期に、産卵可能なサイズの全てのメスが 1 匹あたり 1 つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。
2016 年は雪解けが早く、エゾアカガエルの産卵も例年より早い 3 月 22 日に始まりました。梅の香橋、上流湿地、人工湿地、原っぱエリアの 4 か所、4/8～5/2の3回の調査で、卵塊数の合計は66個となり、2009年からの調査の中で一番少ない結果となりました。水の流れや水量の増減など、環境の変化により産卵場所の変遷もあると思いますが、注意深く調査地の状況を見守りたいと思います。

◎鳥類（繁殖期）　調査日 ' 16 年 6/10　6/22　7/2（東部緑地）

東部緑地の大曲川沿いの遊歩道約1㎞を歩きながら半径 50 m以内で確認された鳥類の種名・個体数を記録します。緑が美しい季節、*エゾハルゼミ*の鳴き声を聞きながら調査開始、*トケンラン*や*ジンヨウイチヤクソウ*、*エゾカンゾウ*、*ミヤマナルコユリ*など、調査をしながら周囲の野の花を見るのも楽しみです。'16年の調査では、*シジュウカラ*、*ハシブトガラ*、*ヤマガラ*、*アオジ*、*センダイムシクイ*、*カワラヒワ*、*コゲラ*、*アカゲラ*などの幼鳥を多数確認しました。*アカゲラ*の営巣と子育ても確認できました。

◎鳥類（越冬期）　調査日 ' 17 年 1/12　1/25　2/6　（東部緑地）

越冬期の調査では積雪や倒木で調査地を全部歩けないこともありますが、今年の冬は好天に恵まれ、スノーシューをはいて全域を調査することができました。まだ雪が深い季節ですが、青空からのぞく陽ざしは春を思わせるようで、時おり気の早い野鳥のさえずりが響きます。*シジュウカラ*、*ハシブトガラ*、*ゴジュウカラ*、*ヤマガラ*、*アカゲラ*、*コゲラ*、*ヒヨドリ*、*ツグミ*、*ハイタカ*、*ハシブトガラス*、*トビ*などを確認。雪の上には、*キタキツネ*、*エゾリス*、*エゾユキウサギ*の足跡が多数ありました。